

	取り組みを提案することができる。			○		○	○
3 学 期	日本は変化に富んだ地形や気候をもち、様々な自然災害が多発することから、早くから自然災害への対応に努めてきたことなどを、具体例を通して理解する。	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。	○		○	7
	地形図やハザードマップなどの主題図の読図など、日常生活と結びついた学習を通して、防災意識を高める。	2章 生活圏の調査と地域の展望	生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		○	○	7
							合計 68

高等学校 令和4年度（1学年用）

教科

教科： 地理歴史

科目： 歴史総合

単位数： 単位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1組：加沼 （ 2組：加沼 （ 3組：加沼 （ 4組：加沼 （ 5組：加沼 （ 6組：加沼

使用教科書：（ 新選歴史総合（東京書籍）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 0	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。○より良い社会の実現を視野に、自身とのかかわりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、その諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する活動を通して、それらが日本や日本周辺地域、および世界の歴史とつながっていることを理解する。	○歴史の扉 (1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料	○私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。○複数の資料の関係や異同に注目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。○科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
	○近代化の歴史に関わる諸事象のうち「労働と家族」に関する複数の資料を活用し、それらの資料から情報を読み取ったりまとめたりする学習活動を通して、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、本省の学習に対する見通しを立てる。	○近代化と私たち (1) 近代化への問い	○近代化に伴う生活や社会の変容について諸資料から情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。○近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。○近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立てて課題を追究しようとしている。	○	○	○	1
	○18世紀の東アジア諸国の外交に着目して、18世紀の東アジア諸国における経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀の東アジア諸国同士の国際関係やそれぞれの国の経済発展について理解する。	(2) 結びつく世界と日本の開国	○18世紀の東アジア諸国の諸相について、諸資料から読み取り、理解している。○18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築き、どのような経済発展をしていたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。○18世紀のアジア経済と社会について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	○18世紀後半以降の欧米の市民革命の動向を理解し、政治変革の特徴などに着目して、主題を設定し、社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	(3) 国民国家と明治維新	○市民革命と、市民社会の形成について、諸資料から読み取り、理解している。○アメリカ独立革命やフランス革命が世界にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。○立件体制と国民国家の形成について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	○自由・制限の観点を基に、貿易に関する問題について主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	○近代化と現代的な諸課題 (4) 近代化と現代的な諸課題	○現代的な諸課題の形成に関わる近現代化の歴史について理解し、説明している。○近代化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。○「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	1
2	○「国際関係の緊密化」「アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭」「植民地の独立」「大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化」「生活様式の変化」などのうちからテーマを1つ選び、資料を活用しながらそのテーマに沿って国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	○国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	1

2 学期	○近代化と大衆化の關係に着目し、20世紀前半に世界の諸地域で進展した大衆の社会参加の要因や影響を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、大衆化の進展が20世紀以降の社会や国際關係にどのような影響を与えたといえるかを多面的・多角的に考察し、表現することで、大衆社会について理解する。	(2) 第一次世界大戦と大衆社会	○大衆化による人々の生活の変化について諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ20世紀前半に大衆化が進んだのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	○世界恐慌がなぜ発生し、各国はどのように対応したのかという点に着目し、各国の対応策を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、世界恐慌とその対応について多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界恐慌が戦間期の時代の転換点となったことを理解する。	(3) 経済危機と第二次世界大戦	○世界恐慌が発生した過程と、それに対するそれぞれの国の対応の相違について、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ世界恐慌が発生したのか、それに対して各国がどのような状況に陥り、どのように対応したのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○国際協調体制の動揺について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	米軍基地をめぐる対立・協調の観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し、説明している。 ○国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題に関連付けて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ○「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	1
3 学期	○グローバル化に伴い、生活や社会が変化したことを示す資料を活用して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。また、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	○グローバル化と私たち グローバル化への問 (1)	○グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 ○グローバル化に伴う生活や社会は変容について考察し、問いを表現している。 ○グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	1
	○冷戦の対立が拡大する一方で緊張緩和の動きも見られたことと第三勢力が台頭してきたことに着目し、冷戦体制における対立と緊張緩和の状況を比較したり、冷戦構造と第三勢力の台頭とを関連付けたりするなどして、冷戦体制がどのように転換し、第三勢力がどのように影響力を拡大したかについて多面的・多角的に考察し、表現することを通して1950年代半ばから60年代頃の世界について理解する。	(2) 冷戦と世界経済	○冷戦構造が世界的に拡大する一方で共存の道を歩む様子や、その中で第三勢力が台頭してくる過程について、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ冷戦が拡大しながらも共存を模索していったのか、また、そのような国際情勢下になぜ第三勢力が台頭してくるのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。 ○国際政治の変容について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	○欧米先進国や日本の経済成長の特徴について着目し、経済成長の背景や要因、その影響に関する諸資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現することを通して、欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。	(3) 世界秩序の変容と日本	○欧米先進国や日本の経済成長がどのように展開し、どのような社会の変容を生み出したのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ○なぜ欧米先進国や日本が経済成長を果たしたのか、また、その経済成長がどのような影響を社会に与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。	○	○		8
	グローバル化の進展によって世界が抱えた問題点や、その解決に向けての取り組みについて、諸資料から読み取り、考察し、表現する。	(4) 現代的な諸課題の形成と展望	○グローバル化や地域統合、民主主義がどのような問題点を抱え、解決のためにどのような取り組みをしているのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ○冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日				2
							合計

			本の役割などについて考察し、結果を表現している。 ○冷戦終結後の国際政治の変容と課題について振り返り、自ら学習を調整しようとしている。	○	○	○	60
--	--	--	--	---	---	---	----

東京都立東村山西高等学校 令和4年度 科目名 年間指導計画

教科：（地歴） 科目：（世界史A） 対象：（第2学年1組～5組） 単位数：2単位

使用教科書：世界史A（東京書籍）

使用教材：プロムナード世界史（浜島書店）世界史Aワークシート（東京書籍）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「世界史A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法
4月	1.近・現代世界史の背景 古代文明、ユーラシアの諸地域世界の発展と交流 2.成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ アジア諸帝国の繁栄	①人類の誕生・文明の成立 ②東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカの各世界の展開と交流 ③明清、ムガル帝国、オスマン帝国	定期考査 授業への参加状況 ノートなどの提出物 小テスト
5月	2.成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ 大西洋世界の変容	①アメリカ独立革命、フランス革命 ②産業革命 ③中南米諸国の独立	
6月	2.成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ 産業化社会の拡大、アジア諸国の変貌と日本	①ウィーン体制～1848年革命 ②英ヴィクトリア時代、仏第二帝政 ③南北戦争、独伊の統一、露東方問題と国内改革 ④清の衰退・アヘン戦争～変法自強運動	
7月	2.成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ アジア諸国の変貌と日本 3.現代の世界と日本 帝国と民族の時代	①インド大反乱～インド帝国成立 ②オスマン帝国の衰退 ③第二次産業革命	
8月			
9月	3.現代の世界と日本 帝国と民族の時代、二つの世界大戦の時代	①帝国主義 ②植民地の拡大と列強の対立 ③第一次世界大戦	
10月	3.現代の世界と日本 二つの世界大戦の時代	①ヴェルサイユ体制 ②世界恐慌とファシズム ③第二次世界大戦	
11月	3.現代の世界と日本 冷戦と民族独立の時代	①冷戦の始まり ②国際連合の成立 ③アジア・アフリカの民族運動	
12月	3.現代の世界と日本 冷戦と民族独立の時代	①ベトナム戦争 ②冷戦体制の動揺 ③冷戦の終結	
1月	3.現代の世界と日本 グローバル化のなかの危機	①グローバル化とアメリカ合衆国 ②地域統合の模索（EU・NAFTA・APEC等）	定期考査 授業への参加状況 ノートなどの提出物 小テスト
2月	3.現代の世界と日本 グローバル化のなかの危機	①中東での革命 ②パレスティナ問題の推移 ③中国の経済成長と大国化	
3月	3.現代の世界と日本 21世紀に生きる	まとめ	

予定時数
6
8
10
6
8
6
8
4
4
8
2

東京都立東村山西高等学校 令和4年度 科目名 倫理 年間指導計画
 教科：（公民） 科目：（倫理） 対象：（第2学年1組～5組） 単位数：2単位
 使用教科書：高等学校 倫理（第一学習社）
 使用教材：テオリア 最新倫理資料集（第一学習社）

		指導内容 【年間授業計画】	科目「倫理」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	1学期前半	○よく生きることを求めて	○「人間とは何か」について考察し、倫理を学ぶ意義と倫理的視点を持つことの重要性を理解する。	○提出物（課題）	4
5月		○青年期の課題 ・青年期とは何か ・青年期の思考と感情 ・青年期の人間関係 ・青年期の自己形成	○青年期の誕生と人生における位置づけ、青年期特有の思考と感情、人間関係等を理解し、自らの生き方考える。		6
6月	1学期後半	○ギリシャの思想 ・哲学の形成 ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレス	○哲学の形成について理解する。 ○先哲（ソクラテス・プラトン・アリストテレス）の思想から、現代社会の正義の概念、自身の生き方や物事の捉え方、社会を生きるうえで必要な倫理的視点について考察する。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	4
7月					3
8月					
9月	1学期前半	○宗教 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想 ・宗教の共存	○それぞれの宗教の誕生とその教えを理解する。 ○信仰している宗教が人々にとってどのような意味を持つのかを理解する。 ○国際社会における宗教同士の対立や文化摩擦の例から、宗教・文化の共存について考察する。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	6
10月					6
11月	1学期後半	○現代に生きる人間の倫理 ・人間の尊厳 ・近代の科学革命と自然観 ・自由で平等な社会の実現 ・人間性の回復と主体性の確立 ・現代の思想と人間像 ・生命への畏敬と社会参加	○経験論と合理論の考え方の特色を理解する。 ○社会契約説や自由の実現について、その考え方を理解する。 ○近代思想について理解を深め、現代の社会へどのように参加していけばいいのかを考察する。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	6
12月					4
1月	3学期	○現代の倫理的課題 ・生命の問題 ・家族、地域社会 ・情報社会 ・国際平和	○日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。 ・脳死と臓器提供について、臓器移植法の制定と改正と照らし合わせて理解し、倫理的視点から考察する。 ・少子化、高齢化が進む社会での課題と、社会の在り方を考察する。 ・たくさんの情報があふれるなかで倫理的視点を持ち、それらとのかかわり方を考える。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	5
2月					6
3月					4

東京都立東村山西高等学校 令和4年度 科目名 年間授業計画

教科：（公民） 科目：（政治・経済） 対象：（第3 学年 1～6組）

使用教科書： 改訂版 政治・経済（第一学習社）

使用教材： 政治・経済資料（東京法令出版）

		指導内容 【年間授業計画】	科目政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	1 学期 前半	・経済社会の発展 ・経済主体と経済活動 ・市場経済と景気変動 ・物価の動き ・金融の仕組みと働き ・財政の仕組み	・資本主義の特質、社会主義の課題に関して理解を深める。 ・インフレーション・デフレーションの原因と影響を理解させる。	提出物（課題、ノート）	4
5月			・財政とは何か、市場メカニズムを補う役割に関して理解させる。		6

		指導内容 【年間授業計画】	科目政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
6月	1学期後半	・中小企業の地位と役割 ・農業の現状と改題 ・消費者問題 ・期末考查	・大企業と中小企業の間様々な格差や、中小企業が抱え続けている課題について考えさせる。 ・日本農業政策の変遷を理解させ、食料自給率の現状を考察させる。	定期考查 授業態度 提出物（課題、ノート）	8
7月					4
8月					
9月	2学期前半	・調べ学習、ポスター発表 ・少子高齢化と社会保障 中間考查	・これまでの既習事項などから、経済分野に関する各分野を選択・調査しポスターにまとめ発表する。 ・少子高齢化が進むと、どのような社会的な問題が生じるのかを考察させる。	定期考查 授業態度 提出物（課題、ノート）	4
10月					8
11月	2学期後半	・高度情報社会の進展と課題 ・労働問題 期末考查 ・社会保障制度の充実	・高度情報社会がもたらした社会的変容に関して考察させる。 ・アルバイトの事例などを取り上げ、労働問題が生徒自身に関わる重要な問題であることを理解させる。 ・日本と諸外国の社会保障制度を比較して、それぞれの長所と短所を理解させる。	定期考查 授業態度 提出物（課題、ノート）	5
12月					4
1月	3学期	・国際経済のしくみ 学年末考查	・国際収支の項目間の関係を、「資本の還流」というマクロ的な視点から理解させる。	定期考查 授業態度 提出物（課題、ノート）	4
2月					
3月					

東京都立東村山西高等学校 令和4年度 科目名 年間授業計画

教科：（公民） 科目：（政治・経済） 対象：（第3 学年 1～6組）

使用教科書： 改訂版 政治・経済（第一学習社）

使用教材： 政治・経済資料（東京法令出版）

		指導内容 【年間授業計画】	科目政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	1学期前半	政治と社会 政治と国家 国家の役割	・私たちの生活の中で、政治はどのように関わっているかを考えさせる。	提出物（課題、ノート）	4
5月		国家と法 社会契約説 人権保障	・社会契約説が生まれていった経緯を理解させる。 ・自由獲得の歴史を理解し、さらに人権が発展して行く過程を理解させる。		5

		指導内容 【年間授業計画】	科目政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
6月	1 学期後半	議会制民主主義と世界の政治体制 日本国憲法の原理 平和主義と自衛隊 基本的人権と新しい人権	・間接民主制のシステムを理解するとともに、各国の政治体制の違いと経緯を考察させる。 ・日本国憲法の制作過程について理解させ、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の三つの原理に関して理解させる。	定期考査 授業態度 提出物（課題、ノート）	8
7月					3
8月					
9月	2 学期後半	国家の組織と立法 内閣の機構と行政 司法制度 地方自治 政党政治と選挙制度	・国会の地位と構成、法律の成立過程、議院内閣制のシステムについて理解を深める。 ・司法権の独立とは何か、またなぜ守る必要があるのかを具体的な事件を手掛かりに考察させる。 ・地方自治の本旨について学び、地方分権について理解を深め、自治について主体的な意欲と態度を形成させる。	定期考査 授業態度 提出物（課題、ノート）	4
10月					7
11月	2 学期後半	国際社会と国際法 国際紛争と難民問題 軍備管理と軍縮 日本の外交と国際平和の役割	・国際法の歴史や種類、特徴について理解するとともに、その発展についても考えさせる。 ・国際紛争の発生要因には、政治的要因・経済的要因・社会、文化的要因がありそれぞれの背景を考察させる。 ・核抑止論に基づく核軍拡競争について理解させる。 ・国際平和と人類の福祉の実現のための、日本の役割について考えさせる。	定期考査 授業態度 提出物（課題、ノート）	5
12月					4
1月	3 学期	現代経済の仕組みと特質 国民経済と国際経済	・本主義の特質、発展の歴史、三つの経済主体の度に関して理解させる。 ・WWⅡ以降の国際通貨制度・国際貿易体制はどのような理念に基づいて構築されたかを理解させる。	定期考査 授業態度 提出物（課題、ノート）	5
2月					
3月					

東京都立東村山西高等学校 令和4年度 科目名 年間指導計画
教科：（地歴） 科目：（地理A） 対象：（第3学年 自選） 単位数：2単位
使用教科書：高等学校 地理A 世界に目を向け、地域を学ぶ（第一学習社）
使用教材：標準高等地図 - 地図でよむ現代社会 - （帝国書院）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「地理A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法
4月	現代世界の特色と諸課題の地理的考察 地球儀や地図でとらえる現代世界 ①球面で世界を考えよう	緯度や経度を理解する。時差の計算が出来る。	授業出席状況 授業態度 提出物 定期考査
	②世界地図の特徴を知ろう	メルカトル図法や正距方位図法について理解する。	
5月	③国家の領域と領土問題	国家の三要素を理解し、日本の領域や近隣諸国との領土問題を 知る。	
	④国家をこえた結びつき	EUやASEANなどの組織についてその目的、加盟国を理 解する。	
	⑤交通機関の発達と縮小する地球世界	交通機関の発達による時間距離の短縮、各交通機関の特 色を理解する	
	中間考査		
6月	⑥人・「もの」・資本で結びつく世界	日本への旅行者数、日本の貿易相手国など日本と世界の 結びつきを理解する	
	世界の人々の生活を取りまく地理的環 境 ①さまざまな環境のなかで暮 らす人々	衣食住と環境の関係から地理的な環境と人間生活のかか わりを理解する。	
	②世界的視野から見た地形	大地形の成り立ち、プレート理論について理解する。	
	③さまざまな地形と生活	小地形について代表的な事例を理解する。	

	指導内容 【年間授業計画】	科目「地理A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法
7月	期末考査		
	答案指導		
8月			
9月	④世界的視野から見た気候	気候要素、気候因子を理解し、地球全体の気候のシステムを理解する。	授業出席状況 授業態度 提出物 定期考査
	⑤世界の気候と生活	ケッペンの気候区分を理解する、雨温図を作成する。	
	⑥世界の民族のさまざまな生活・文化	民族について言語、宗教から理解する	
10月	世界の諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの暮らしを学ぶ	朝鮮半島 中国の生活と文化 日本とのかかわりを理解する。	
	②東南アジアの暮らしを学ぶ	植民地支配の歴史や東南アジアの生活文化を学ぶ	
	中間考査		
11月	③南アジアの暮らしを学ぶ	ヒンズー教やカースト制から南アジアの生活文化を学ぶ	
	④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ	イスラム教、石油などからこの地域の生活文化を学ぶ	

	指導内容 【年間授業計画】	科目「地理A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法
1 2 月	期末考査		授業出席状況 授業態度 提出物 定期考査
	答案指導		
1 月	⑤ヨーロッパの暮らしを学ぶ	EUにまともろうとするヨーロッパの生活と文化を学ぶ	
	さまざまな地球的課題 ①人口問題	人口爆発と少子高齢化について理解する	
	②食料問題	世界の食料問題ついて理解する	
	③資源エネルギー問題	資源の偏在と有限性、エネルギー問題について理解する	
2 月	生活圏の諸課題の地理的考察 ①自然環境と防災	日本の自然環境とそれにより発生しやすい自然災害について理解し、防災意識を高める	
	②地域調査	地域調査の基本的な方法を理解し、近隣の地域を調査する	
3 月	学年末考査		
	答案指導		

[illegible]

予定時数
2
2
2
4
2
4
3
1
4
4

予定時数
2
2
2
2
1
1
4
4
2
2

東京都立東村山西高等学校 令和3年度 科目名 自由選択倫理 年間指導計画

教科：（公民） 科目：（倫理） 対象：（第3学年 自由選択） 単位数：2単位

使用教科書：高等学校 倫理（第一学習社）

使用教材：テオリア 最新倫理資料集（第一学習社）

		指導内容 【年間授業計画】	科目「倫理」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	1学期前半	○現代社会における諸問題についての調べ学習と考察	○現代社会に存在するあらゆる問題について関心を持ち、倫理的視点から捉える重要性を理解する。	○提出物（課題）	
5月		○生きがいと人生について	○「生きがい」とは何かを考え、それぞれで異なるものであることを理解する。 ○人間にとっての生きがいの重要性を理解する。		
6月	1学期後半	○人生の各段階にかかわる個人の権利と倫理課題について	○自分自身のこれまでの人生を振り返ることや、これからの人生設計をするなかで、個人の権利とともに、そこにかかわる倫理課題が存在することを理解する。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	4
7月		○生命の問題と倫理課題 ・代理出産 ・出生前診断	○代理出産や出生前診断についてその意義と問題点を理解し、倫理的視点から考察する。		3
8月					
9月	1学期前半	○生命の問題と倫理課題 ・脳死と臓器移植 ・自己決定の尊重と末期医療	○脳死と臓器移植について臓器移植法の制定と改正の流れとともに理解し、当事者の声に触れ、その在り方について倫理的視点から考察する。 ○末期医療と人間の尊厳について考える。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	6
10月		○家族・地域社会と倫理課題 ・変化する家族形態とそれにとまなう諸問題 ・子育てにおける諸問題 ・介護における諸問題	○変化する社会のなかで生じてきた家族や地域社会にかかわる問題について、現状を理解し、社会の一員としての在り方を考える。		6
11月	1学期後半	○性に関する問題と倫理課題 ・LGBT	○LGBTを正しく理解し、社会におけるマイノリティとマジョリティについて考える。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	6
12月		○国際平和 ・差別や偏見に関すること	○人種差別や部落差別、障害に対する偏見等、社会に存在する諸問題に触れ、共生の視点をもつ。		4
1月	3学期	○1年間のまとめ	○1年間の学習を通して、日常の生活や人とのかかわりのなかでの物事の捉え方や判断の仕方等について文章でまとめ、表現することができる。	○定期考査 ○授業態度 ○提出物（課題、ノート）など	4
2月					
3月					

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	日本史学習の基礎知識 19世紀の世界とアジア 外国船の来航と海防策 新しい学問と思想 社会の変化と農民の動向 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	○時代区分（西暦、世紀、元号）を理解する。 ○産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景を理解する。 ○ロシア・イギリスなどの外国船の来航と蝦夷地の動向、それに対する海防論や幕府の対外政策について理解する。 ○儒学と教育が普及し、国学と蘭学が隆盛し、封建社会の矛盾を打開・批判する政治思想が出現したことを理解する。 ○商品経済の発達が村社会の変化をもたらし、貧富の差の拡大や飢饉を背景に百姓一揆や村方騒動が増大したことを理解する。 ○幕政改革や藩政改革の内容を理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	8
5月	【中間考査】 ペリー来航と日米和親条約 通商条約の締結と安政の大獄 貿易の影響と尊王攘夷 倒幕運動の展開 幕府の滅亡と新政府の成立 近代国家の成立と国民の誕生	○ペリー来航から日米和親条約にいたる対外情勢の動向と幕府の対応について理解する。 ○通商条約締結に対する国内政局の動向について理解する。 ○開港後の貿易が国内経済の混乱を招き、尊王攘夷運動の激化にも影響したことを理解する。 ○討幕運動の展開と幕府・諸藩・英仏など諸外国の相互の関わりの因果関係を理解する。 ○江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を理解する。 ○版籍奉還・廃藩置県・四民平等政策などを通して明治新政府の政治理念を理解する。		14
6月	地租改正と殖産興業 文明開化 明治政府の国際関係 国境の画定と北海道の開拓 不平士族の反乱と日朝修好条規	○明治新政府の近代化政策とそれに対する民衆の動向について理解する。 ○文明開化の実態と民衆の生活・文化への影響を理解する。 ○岩倉使節団の派遣などを通して明治初期の外交について理解する。 ○国境の画定政策を通して江戸時代の「四つの口」に対する明治新政府の対応を理解する。 ○大久保利通と西郷隆盛の動向から明治新政府の動きを理解する。		15
7月	【期末考査】 自由民権運動と政党の結成 松方財政と民権運動の激化 立憲体制の確立	○自由民権運動の目的と政府の対応とその結果について理解する。 ○松方財政の国民生活や自由民権運動への影響を理解する。 ○大日本帝国憲法と立憲体制について理解する。		10
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史A」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
9月	初期議会と条約改正 日清戦争 日清戦争後の政治と日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約と満州・樺太	○初期議会の動向と条約改正の成功を、当時の世界情勢に着目して理解する。 ○日清戦争が近代日本に与えた影響を、アジア世界の視点で理解する。 ○日清戦争後の内外情勢の変化や日露対立の原因を理解する。 ○日露戦争の結果によって変化した日本の世界での地位を理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	10
10月	【中間考査】 韓国の植民地化 近代産業の発展 社会問題の発生と政府の対応 明治の思想・学問・文化 護憲運動と大正デモクラシー 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 大戦景気と米騒動	○満州経営や韓国の植民地化について、国民意識の変化にも着目して理解する。 ○日本の近代産業の発達経緯について理解する。 ○資本主義の発達による社会問題や労働問題の発生と政府の対応を理解する。 ○欧米文化を取り入れて形成された近代文化の特色を、国家主義の浸透を踏まえて理解する。 ○大正デモクラシーの意味とその展開を理解する。 ○第一次世界大戦前後の国際情勢と日本の対応を理解する。 ○ロシア革命の内容とその影響を理解する。		15
11月	政党内閣の成立と戦後恐慌 ヴェルサイユ体制 国際連盟の成立とワシントン体制 社会運動の高まり 関東大震災と政党内閣の時代 大衆文化の成立 金融恐慌と外交政策 世界恐慌と昭和恐慌	○ヴェルサイユ講和条約からワシントン体制にいたる動向が世界に与えた影響を理解する。 ○都市中間層の成長と政党政治の動向を理解する。 ○大戦景気から戦後恐慌を経て産業構造や社会の変化をもたらした状況を理解する。 ○様々な社会運動が高揚した時代背景を理解する。 ○大衆文化成立の経済的社会的背景を考察する。 ○恐慌の内容とその影響を理解する。 ○世界恐慌に対する我が国の対応を世界と比較し理解する。		15
12月	【期末考査】 満州事変と国連脱退 二・二六事件と日中戦争 第二次世界大戦と日本 日独伊三国同盟と日米の対立 アジア太平洋戦争（太平洋戦争）の勃発 日本占領下のアジア 戦時下の国民生活 日本の敗戦 占領と改革 占領下の政治と労働運動	○満州国建国のねらいやその後の影響を理解する。 ○二・二六事件から日中戦争をへて国家総動員体制に至る過程を理解する。 ○第二次世界大戦の推移と日本の動向を日米関係に注目して理解する。 ○アジア太平洋戦争の展開を理解する。 ○日本の占領下のアジア各地の動向を理解する。 ○戦時下の国民生活の実情と日本の敗戦の経緯を理解する。 ○GHQの改革の方針と具体的内容を理解する。 ○戦後の政党復活や労働運動の高揚の経緯を理解する。		10
1月	【学年末考査】 日本国憲法の制定 冷戦と占領政策の転換 戦後の国際情勢と日本の独立 戦後の国民生活と変化 55年体制の成立 平和運動と安保闘争 高度経済成長 高度経済成長期の日本と世界 安定成長から経済大国へ 経済大国へのみち 冷戦の終結と「昭和」の終わり— 55年体制の崩壊 21世紀をむかえて こんにちの世界と日本の課題	○日本国憲法の特徴と成立の意義を理解する。 ○冷戦の激化が日本の占領政策に及ぼした影響を理解する。 ○日本の国際社会復帰と日米安保条約の締結がもたらした課題を理解する。 ○戦争体験、物資不足、民主化が国民にもたらした影響を理解する。 ○55年体制成立の背景と安保闘争の意義を理解する。 ○高度経済成長の経緯とそのひずみを理解する。 ○1970年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を理解する。 ○経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響を理解する。 ○冷戦の終結の背景とバブル経済出現の経緯を理解する。 ○55年体制崩壊後の政局の動向を世界の動向と関連付けて理解する。 ○21世紀の日本の外交と平成不況の問題点を理解する。また、今日の世界と日本の課題を理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	8
2月				
3月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	原始社会の生活と文化 旧石器・縄文文化 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 弥生・古墳文化	○気候や地形、動植物相・植生の変化などの自然環境に着目し、人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を理解する。 ○集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や墓制の推移等の社会の変化を理解する。 ○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	8
5月	律令国家の形成と古代文化の展開 飛鳥の朝廷と文化 律令国家の成立と白鳳文化 平城京と天平文化	○推古朝の国政改革について理解する。 ○仏教を基調とする文化が展開したことを理解する。 ○大化改新を経て、律令国家が形成される過程を理解する。 ○律令制のしくみについて理解する。 ○中央集権体制のしくみと奈良時代の政治の動向について理解する。 ○国際色豊かな貴族文化が栄えたことを理解する。 ○奈良時代の貴族と庶民の日常生活を理解する。		14
6月	摂関政治と文化の和様化 平安遷都と唐風文化 貴族社会と摂関政治 国風文化	○平安時代初期の律令体制の再建を理解する。 ○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを理解する。 ○藤原氏による摂関政治が始まったことを理解する。 ○地方政治が転換するなか、武士団の形成が始まったことを理解する。 ○大陸文化を消化し、日本の風土や生活に適應した新しい貴族文化が進展したことを理解する。		15
7月	中世社会の成立 院政と荘園 平氏政権 鎌倉幕府 執権政治 元寇 鎌倉仏教と文化 【期末考査】	○公領の変質や荘園の拡大を理解する。 ○院政のしくみについて理解する。 ○12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを理解する。 ○鎌倉幕府の成立過程と武士の生活を理解する。 ○鎌倉幕府が、二元的支配から公家政権より優位に立つことを理解する。 ○宋銭の流入による貨幣経済の進展と鎌倉幕府内の得宗の力が影響力増大を理解する。 ○武家社会発の新しい文化を理解する。		10
8月				
9月	武家社会の形成と東アジア 室町幕府の創設 倭寇と東アジアの交易 下剋上と戦国大名 室町文化	○鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について理解する。 ○倭寇の活動を背景にして、日明貿易・日朝貿易が展開したことを理解する。 ○産業経済の発達や庶民の台頭を経て、庶民の活動が従来の社会秩序を変える原動力になったことを理解する。 ○東アジア世界との交流のなかで、武家文化と公家文化の融合や庶民文化の発達がみられたことを理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	10

	指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史B」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
10月	ヨーロッパ文化との接触と国内統一 ヨーロッパ文化との接触 織豊政権による全国統一 桃山文化	○大航海時代という世界史的背景のもと、鉄砲やキリスト教の伝来について理解する。 ○織田信長・豊臣秀吉による天下統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について理解する。 ○新興の大名や都市の豪商の精神を反映した豪壮華麗な文化が栄えたことを理解する。		15
11月	幕藩体制の成立 江戸幕府と大名・朝廷 身分制度の確立 キリスト教禁止と鎖国	○江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について理解する。 ○近世社会の身分制度、幕府による農民統制と農村における自治について理解する。 ○江戸時代の農民の生活について理解する。 ○鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易について理解する。		15
12月	近世社会の発達と町人文化 幕府政治の進展 経済と産業の発達 学問の新傾向と元禄文化 【期末考査】	○17世紀なかごろ、武断政治から文治政治に転換したことを理解する。 ○農業・商工業などの産業が、交通の発達や貨幣・金融制度の確立などと相互に関連して発達したことを理解する。 ○元禄文化は、商業活動の展開による都市発展と町人の経済的繁栄を背景にした文化であったことを理解する。		10
1月	幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 幕藩体制の動揺と政治改革 幕藩体制の危機 新しい学問の形成と化政文化 【学年末考査】	○財政難に直面した幕府では、享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことを理解する。 ○社会構造の変化による幕藩体制の動揺に対応するため、寛政の改革が進められたことを理解する。 ○内外の危機の中で実施された天保の改革が失敗する一方、雄藩が誕生してきたことを理解する。 ○洋学・国学などの新たな学問が発展し、江戸を中心とする町人文化が形成されたことを理解する。	定期考査 授業態度 授業の参加状況 ノート提出 など	8
2月				
3月				